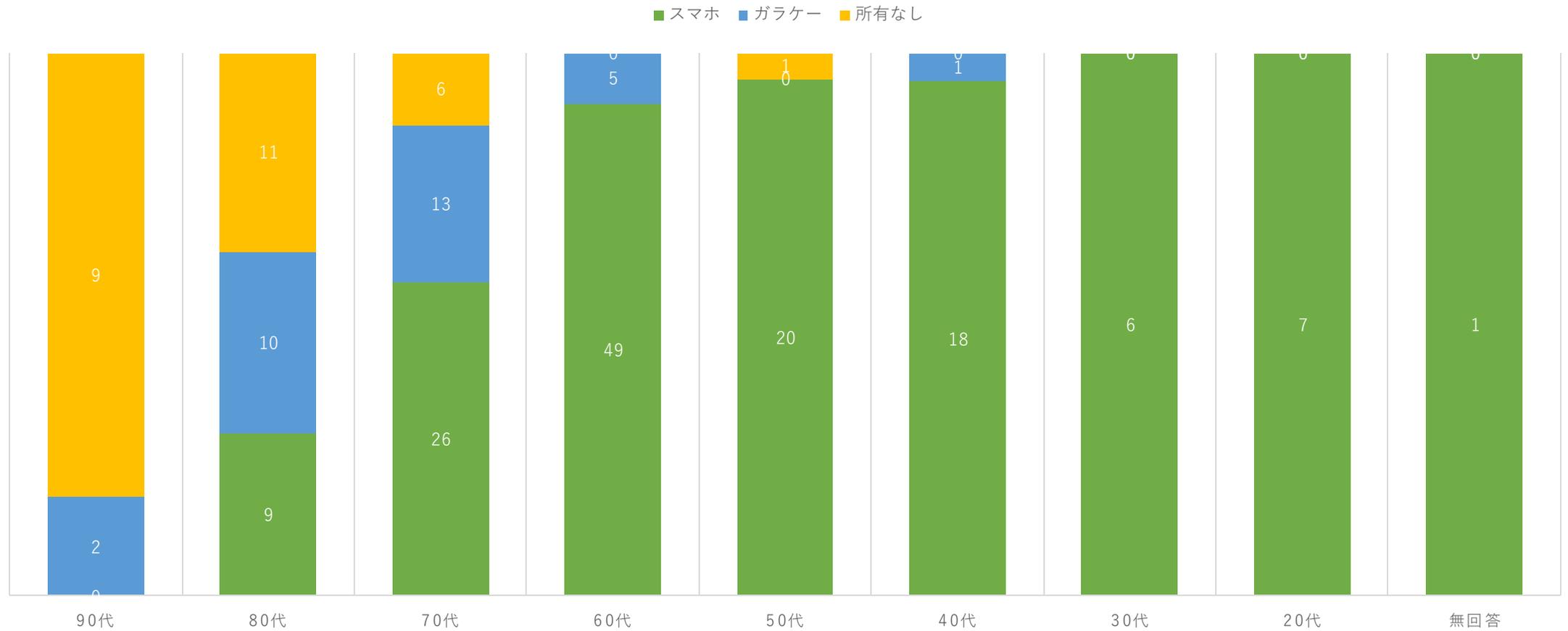


**殿下地区における  
デジタル化の取り組み紹介**

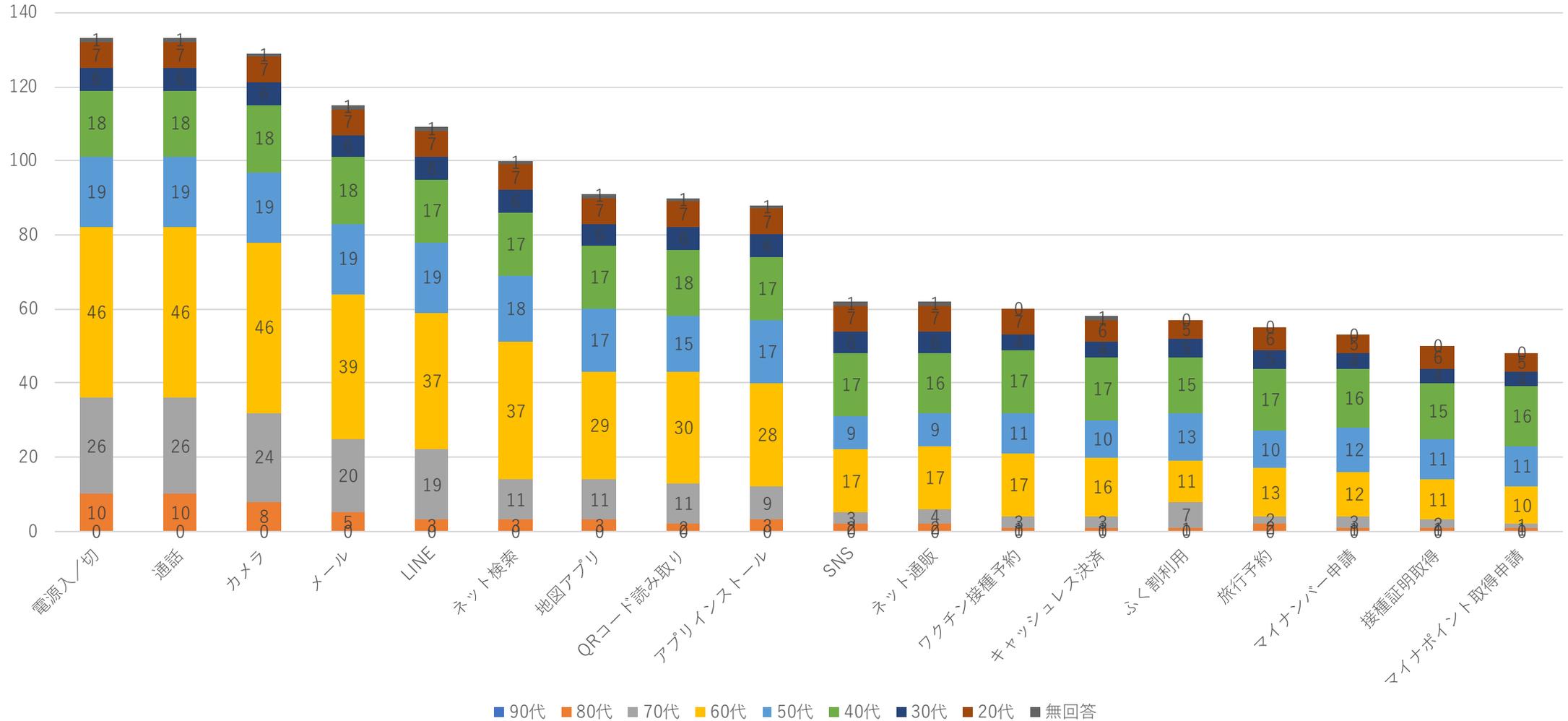
# 参考資料 | 殿下地区における年代別スマホ保有状況（R4年度）

(単位：人)



# 参考資料 | 殿下地区におけるスマートフォンの活用状況（R4年度）

各機能を使うことができるかと回答した人数



プロジェクトを通して生み出したい状況

行政サービスを始めとした、社会サービス全体のデジタル化への対応

全ての住民が、なんらかの形でデジタル化されたサービスへアクセスし、その恩恵を受け取ることができる



地域の方々にとってよりよい暮らしの実現

## 取り組むこと

① デジタルリテラシーの向上

② デジタルデバイドの解消

③ 持続的に取り組んでいくための仕組みづくり

④ 地域への情報発信と共有

# 地域の方々にとってよりよい暮らしの実現

## 全体イメージ

<プロジェクトを通して生み出したい状況>

行政サービスをはじめとした、社会サービス全体のデジタル化への対応

全ての住民が、何らかの形でデジタル化されたサービスにアクセスし、その利益を受け取ることができる

取り組みの全体像は地区内広報等で随時発信・共有

### 行政と地域の取り組み

#### 施策① デジタルリテラシーの向上

スマホ出前講座

#### 施策② デジタルデバイドの解消

デジタルサポーターの養成・配置

### 地域での実践

自治会に LINE 導入  
オンライン診療の実施

### デジタルデバイス解消の啓発

うららの殿下委員会で主導？

自律的な学びの場の醸成

## 【具体的な方策】各自治会でのLINE公式アカウントの運用

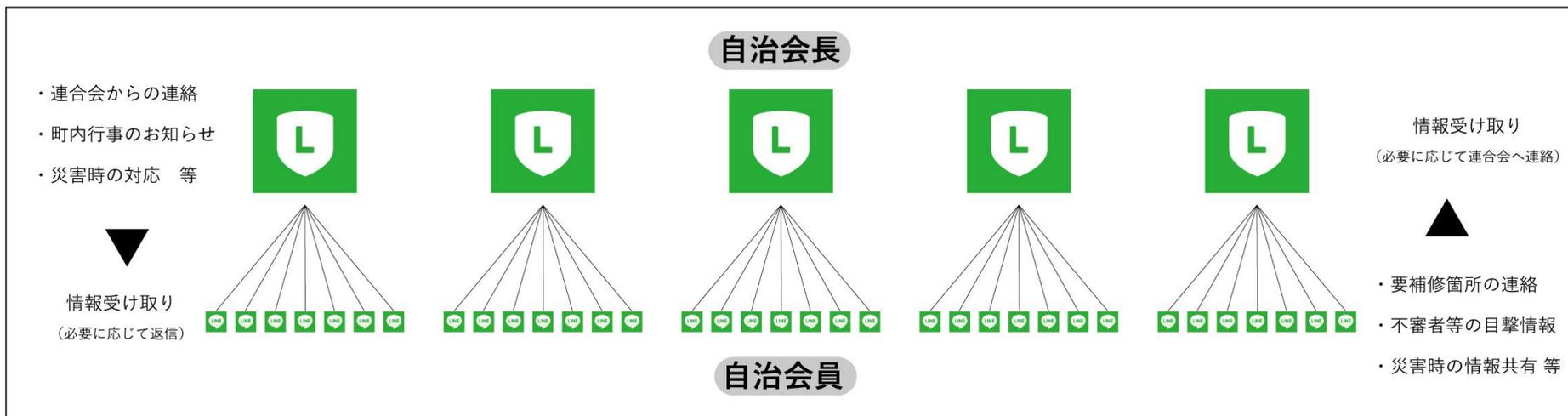
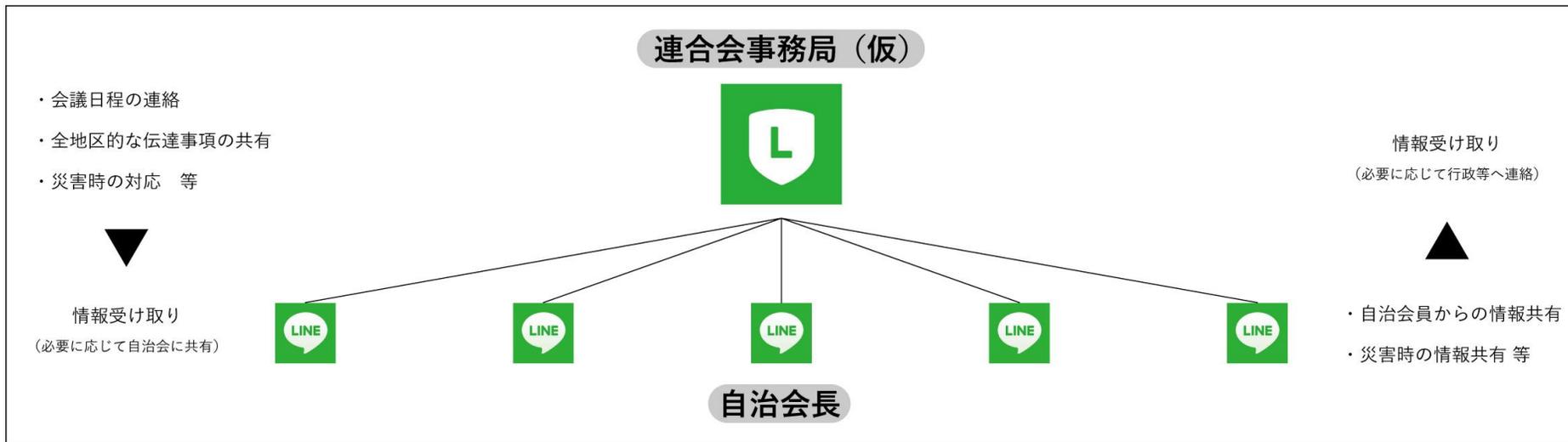
実施時期 | 令和4年5月上旬～

〈STEP1〉自治会連合会会議でLINE運用を進めていきたい旨について説明 

〈STEP2〉試験的に自治会連合会の中で公式アカウントを使いながらコミュニケーション 

〈STEP3〉各自治会のアカウント開設+運用開始（自治会長に加えて高橋が管理者として入る） 

# 殿下地区連合会における「LINE 公式アカウント」活用のイメージ



131/346名  
(37%)

## 【具体的な方策】 地区内広報を通じた情報発信と共有

実施時期 | 令和4年5月上旬～

〈STEP1〉 地域DXプロジェクトについての全体像やゴールを共有（5月中旬）

〈STEP2〉 LINE運用や勉強会の進捗を共有（8月下旬～）

〈STEP3〉 一連の取り組みを経てリテラシーの高まった住民へのインタビューなどを発信

# スマホ教室体験会



# スマホ教室



# スマホ教室



# スマホ教室





# よろず相談



# 自治会長向けスマホ教室（LINE公式アカウントの使い方）



# でんがく（自律的な学びの場）



どんな種類がある？

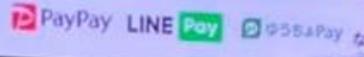
- ・クレジットカード
- ・プリペイドカード
- ・デビットカード



- ・電子マネー



- ・QRコード決済



## 殿下の暮らしとデジタルのよりよい関わりを考える 通信

- 福井市 地域コミュニティDXプロジェクト モデル地区としての取り組み -

2022.05.20

### 地域コミュニティDXプロジェクト、始まります！

令和3年12月に福井市地域プロジェクトマネージャーを拝命した、高橋要です。福井市では、デジタル技術の恩恵を誰もが享受できる地域社会の実現を目指して「**地域コミュニティDXプロジェクト**」をスタートさせました。私たちが暮らす殿下地区は、そのプロジェクトを進めていくうえでのモデル地区として選定を受けています。人口減少と高齢化の進む殿下地区での取り組みが、他エリアのよき先行事例となるよう尽力していきますので、どうぞよろしくお願いいたします！



地域プロジェクトマネージャー  
高橋 要

### 「DX」ってなに？

「DX」とは「**Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション)**」の略語で、簡単に言えば“デジタル技術を暮らしや仕事に浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること”です。単にデジタル技術を活用するだけでなく、デジタル技術の導入を通して、これまでの生活様式や考え方をガラッと変革させる状況を目指す言葉です。



### 取り組みの本質は、「未知」と向き合う気持ちや姿勢を変革させていくこと

今回のプロジェクトで「DX」という言葉を使う意図は、プロジェクトを通して地域の中に何らかの「**変革 (＝トランスフォーメーション)**」を生み出したいという思いからです。目に見えるものだけでなく、新しい技術や概念をもった社会サービスが次々と生み出されていく中で、誰一人その恩恵を受けることから取り残されない支え合いの仕組みをつくり直したり、「**新しいものや状況**」と向き合う一人ひとりの姿勢や心持ちといった部分の変革も目指していきたいと思っています。

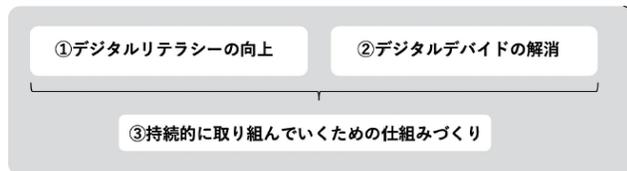
令和4年3月に開催されたスマホ講座体験会の様子



学び合いや支え合いを前提としながら、考え、話し合い、実践するという営み自体が地域に根付いていけば、デジタル関連だけでなく、地域のあらゆる困りごとに向き合っていくことができるはずです。

### プロジェクトの軸は大きく4つ

- ①すでにスマホやパソコンを持っている方がその活用技術を高める「**デジタルリテラシーの向上**」
- ②スマホやパソコンが使えない人もデジタルサービスの恩恵を受けられる状況を目指す「**デジタルデバインド (=情報格差) の解消**」
- ③活動に対し持続的に取り組んでいくための「**仕組みづくり**」
- ④プロジェクトの全体像を“見える化”する「**地域への情報発信と共有**」



これら4つの取り組みを軸に、プロジェクトを進めていきます。

### 【具体的には？(1) みんなでコツコツ、自分の「できる」を増やす

デジタル機器やデジタルサービスの活用技術を高める取り組みの一環として、令和4年度は「**スマホ講座**」を定期的で開催します。殿下公民館を主な会場として、初級者コースと中上級者コースを用意する予定です。講座の詳細については、後日お知らせいたしますので、お誘い合わせのうえ、ぜひ講座へご参加ください。

また、**自治会内での連絡にLINEを導入**するなど、「できそう」な取り組みも少しずつ進めていければと思います。



### 【具体的には？(2) みんなでじっくり、誰かの「できない」を減らす

平均年齢が70歳以上の殿下地区においては、どうしてもスマートフォンやパソコンが使えないという人もいらっしゃるはず。令和4年度は、デジタル技術の活用で長けた住民が高齢者のデジタルサービス利用を手助けする**デジタルサポーター導入の検討**など、地域の中で支え合える仕組みづくりの構築に向けて準備を進めていきたいと思っています。



この広報についての問い合わせ：080-5566-7692 (高橋 要)

## 殿下の暮らしとデジタルのよりよい関わりを考える 通信

- 福井市 地域コミュニティDXプロジェクト モデル地区としての取り組み - 2022.09.05

問い合わせ：080-5566-7692（高橋要）

### お知らせ①「スマホよろず相談会」を実施します！

スマートフォンに関する相談に（できるかぎり）なんでも答える「スマホよろず相談会」を、9月24日（土）9時より実施いたします。スマホを使用するうえで気になることがある方、わからないことがある方など、どなたでもお越しください。

当日は同じ会場で「殿下スマホ講座」第2クールの初回（9:30～初級編、10:45～中上級編）が開催されていますので、そちらにもぜひご参加ください！



#### 「スマホよろず相談会」実施概要

日 付 | 令和4年9月24日（土）  
時 間 | 午前9時から午前12時まで  
場 所 | 殿下公民館 2階  
内 容 | スマートフォンに関するなんでも相談会  
対 象 | どなたでも  
予 約 | 不要  
相談役 | 高橋要（福井市地域プロジェクトマネージャー）  
問合せ | 福井市役所 まち未来創造課（0776-20-5230）

#### 「スマホよろず相談会」はこんな人におすすめ！

- LINE（ライン）を使ってみたけど使い方がわからない！
- キャッシュレス決済を使ってみたけど、どんな準備が必要かわからない！
- よくわからない通知や身に覚えのないメールが届いて不安…。 などなど



### お知らせ②「殿下デジタル相談室」のLINE公式アカウントができました！

#### でんが デジタル 相談室



殿下地区14町内ごとのLINE公式アカウントを作成したことは7月20日配布の地区内広報にてお伝えさせていただきました。

今回お知らせするのは、日々の生活に役立つ様々なデジタル情報（おすすめのアプリ情報やスマホ教室開催のお知らせ等）をお届けし、スマートフォンの困りごとなどにチャットで直接答える「殿下デジタル相談室」のLINE公式アカウントです。

デジタルに関わる相談事にどんどん答えていきますので、ぜひ左側のQRコードを読み込んで友達登録をお願いします！

## 殿下の暮らしとデジタルのよりよい関わりを考える 通信

- 福井市 地域コミュニティDXプロジェクト モデル地区としての取り組み - 2022.07.20

問い合わせ：080-5566-7692（高橋要）

### 各自治会でのLINE公式アカウントの運用がスタート！



▲LINE公式アカウントロゴ

前回の通信でもお知らせしたとおり、各自治会ごとのLINE活用を進めております。具体的には「LINE公式アカウント」というサービスを活用し、各自治会ごとに細やかな情報伝達を実現する仕組みをつくらうとしているところです。殿下にお住いのみなさんはもちろんのこと、離れて暮らすご家族の方にもご登録いただくことで、地区や町内の近況について自然と把握していただくことができると思います。本通信と合わせて、各町内ごとのLINE公式アカウントの友達登録のお知らせを同封しておりますので、ぜひそちらを参考に登録を行なってみてください。

### 自治会でLINEの運用が進むと、どうなる？

各自治会で公式LINEアカウントへの加入率が高まり、コミュニケーションがうまくいくようになれば、以下のようなメリットが生まれてきます。

- ・ 電話やメールでの連絡の手間が省ける
- ・ 自治会行事などの情報（日程の変更や雨天時の対応等）がいち早くわかるようになる
- ・ 事故や災害が起こった際、地区内での情報共有や行政との連携もスムーズにいくようになる etc...

文字だけでなく位置情報や写真・動画などでも情報を伝えることができるようになり、連絡作業の効率化や防災・減災、防犯や見守りなど、様々な暮らしのシーンで変化を感じることができるようになるはずです。

### 7月23日よりスマホ講座が開講！この機会を積極的にご活用ください！

7月5日配布分の地区内広報にて「スマホ教室」開講のお知らせがあったかと思いますが、7月23日（土）9:30より、殿下公民館にて誰でも参加できるスマートフォン教室がスタートします。スマホを持ち始めたばかりという方はもちろん、いまよりもちゃんとスマホを使いこなせるようになりたいという方もぜひ。飛び入りも可能です。スマートフォンについてのあれこれを無料で学べる貴重な機会ですので、ぜひご活用ください！

「殿下の学び場」

# でんがく (仮)

第2回テーマ



## について学ぼう

「PayPay」や「ふく割」ってよく聞くけど、一体なに？

使うとどんなメリットがあるの？

実際どうやって使ってる？

自分のスマホで使えるようにするにはどうしたらいい？

気になる「PayPay」「ふく割」についてのアレコレを、みんなで学んでみませんか？

### 概要

日時 | 令和4年10月27日 (木)  
19:30~21:00

場所 | 殿下公民館 2階和室

対象 | どなたでもどうぞ

参加費 | 無料

話題提供 | 高橋 要 (福井市地域プロジェクトマネージャー)

内容 | PayPayやふく割の利用について参加者  
みんなで学びます。

申込 | 事前申し込み不要

## でんがく (仮) とは？

気になるテーマについて、老若男女を問わずに学び合う「殿下の学び場」、略して「でんがく」です。

みんなで寄り合って学ぶことで、暮らしの中の「わからない」を地道に解消。

定期的な開催を目指して、実験的にスタートしていきます。

主催：うらの殿下委員会 問合せ：080-5566-7692 (高橋 要)

「殿下の学び場」

# でんがく (仮)

第1回テーマ

## 「キャッシュレス決済」 について学ぼう



クレジットカードやプリペイドカード、電子マネーやQRコード決済。



現金を使うことなく買い物ができる「キャッシュレス決済」が

当たり前のように使われる世の中になってきました。



キャッシュレス決済って一体なに？



どんな種類があるの？



メリット・デメリットは？



気になるキャッシュレス決済についてのアレコレを、みんなで学んでみませんか？

### 概要

日時 | 令和4年9月29日 (木)  
19:30~21:00

場所 | 殿下公民館 2階和室

対象 | どなたでもどうぞ

参加費 | 無料

話題提供 | 高橋 要 (福井市地域プロジェクトマネージャー)

内容 | キャッシュレス決済について参加者  
みんなで学びます。

申込 | 事前申し込み不要

## でんがく (仮) とは？

気になるテーマについて、老若男女を問わずに学び合う「殿下の学び場」、略して「でんがく」です。

みんなで寄り合って学ぶことで、暮らしの中の「わからない」を地道に解消。

定期的な開催を目指して、実験的にスタートしていきます。

主催：うらの殿下委員会 問合せ：080-5566-7692 (高橋 要)

